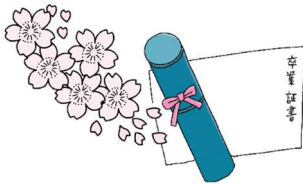


星はいつも

第272号 2025. 3. 14



卒業によせて ～自分らしく～ (卒業式式辞より)

校長 豊村 和史

みなさんにとってかけがえの無い3年間は、一昨年5月、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学校も本来の姿に近づき、存分に活動できる機会を取り戻せた3年間でした。そのような状況の中、みなさんは、今年一年、最上級生としての役割を見事に果たし、笑顔あふれる明るく楽しい雰囲気を校内に創り出してくれました。

HCT・ステーションの取組に対して、創意工夫しながら、より良いものを目指し、仲間と共に築き上げる姿勢は、後輩たちの目にしっかりと焼き付けられ、確実に星置中学校の良さ・伝統が受け継がれました。その姿に、「さすが3年生」と誰もがその発表に魅了されました。

また、私個人としては、みなさんと一緒に行った修学旅行の学年レクの時間が思い出に残っています。みんなで心から笑いながら、楽しんでいる姿に学年集団の温かさや一体感を感じました。特に印象深かったのは、学年の輪の中に必ず先生方もいて、分け隔てなく一緒になって楽しんでいたりと、旅館内でみなさんを見守っている先生に「先生、大変ですね。お疲れ様です」とねぎらいの言葉をかけ、飲み物やおやつを差し入れしている人もいて、みなさんのやさしい心遣いに触れることができ、みなさんと先生方の一体感を強く感じた、感動した瞬間でもありました。そんな、心地よい時間を過ごさせてもらうと同時に「教育活動の意義」を再認識し、確固たる決意を持たせた瞬間でもありました。

みなさんは、人に良い影響を与えることのできる、本当に素敵な集団です。そんなみなさんに、卒業という節目にあたり、伝えたいことが一つあります。

それは、「自分の人生を、自由に 自分らしく 歩むこと」です。そのために

- ・自分の選んだ道を信じてください。
- ・ゆっくりと、自分の力で、歩み続けてください。
- ・人と比べることなく、自分の気持ちに正直に、自分らしく生きてください。
- ・疲れてきたら、無理をせず、いったん立ち止まって休んでください。
- ・悩んだり、困ったら、周りに助けを求めてください。

今、社会は急激に変化し、今後予測が困難な状況となっています。このような時代だからこそ自分の良さや可能性を認識し、周りの人々と協力しながら共に成長し続けてほしいと思っています。また、学びを止めることなく、仲間を大切に、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となることが期待されます。みなさんなら、その役割が果たせます。どうか自分自身を信じて、大いに人生を味わってください。

最後になりましたが、保護者の皆様、これまでお子様を大切に育てられ、今日こうして立派に卒業式を迎えられたことを、心よりお喜び申し上げます。

送辞

春の訪れを感じる今日この頃、私達は二十五期の先輩方をお送りする日を迎えました。三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんと共に過ごした日々は、本当にあっという間でした。私達が期待と不安の入り混じった思いで星置中学校に入学してきたとき、皆さんは優しく声をかけて下さり、緊張していた私達の心を和らげて下さいました。あの温かい言葉と笑顔があったからこそ、私達はすぐに学校生活に馴染むことができました。

いつも先輩方は私たちを支え、励まして下さいました。私自身、生徒会執行委員として活動する中で、悩むことや困難にぶつかることが何度もありました。しかし、そのたびに先輩方が支えて下さいました。本当に感謝しています。

先輩方は私達の憧れです。HCT・ステーションでは、一人一人が一生懸命で、見る人を惹きつけ、先の読めない展開や演出に驚かされました。細部まで丁寧に作られた作品や、胸が躍る工夫が凝らされた展示からは、先輩方の熱意と努力が伝わってきました。アクシデントがある中でも臨機応変に対応し、見る人を楽しませようとする姿、試行錯誤を繰り返しながら作品を仕上げていく姿、最後まで全力で楽しむ姿。先輩たちはたくさんの素敵な姿を見せて下さいました。

また、先輩方の合唱は今も心に残っています。特に合唱交流会での「ヒカリ」は強く印象に残っています。思いが伝わる、あの壮大な歌声は忘れられません。一音一音を大切に、一人一人の声を重ね、体育館中に響き渡る歌声は、とても迫力がありました。あの日の歌は、今も私達の心に響いています。

その背中を追いかけて、これまで先輩方が受け継ぎ、築き上げてきたものを、私たちがしっかりと引き継いでいきます。そして、さらに素晴らしい星置中学校へと発展させていきます。

先輩方がこれから進む道は、新しい出会いと挑戦に満ちていることと思います。時には困難なことや、思い通りにいかないことがあるかもしれませんが、星置中学校で過ごした日々、努力を積み重ねた経験、仲間と築いた絆が、きっと皆さんを支えてくれるはずです。どうか自分を信じて、勇気をもって、一步一步未来へと歩いて下さい。

最後になりますが、三年生の皆さんの今後のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げ、在校生代表の送辞とさせていただきます。

令和7年3月14日 在校生代表

校内装飾のようす



1 学年担当の廊下装飾



2 学年担当の教室装飾